

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8年 3月 25日

事業所名：心身障がい福祉センター びよびよ園

保護者等数（児童数）46

回収数38（配布数41）

割合92.7%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	37	1	0	0	<p>人数が増えるとダンスの時など教室が狭いかなと思います。</p> <p>走ることが大好きなので、室内でも走ることが思いきりできると有難いです。限られたスペースで難しいと思います。</p>	<p>ご不便に感じていらっしゃる点、申し訳ありません。国基準のお子様1人あたりにおける敷地面積の基準はクリアしておりますので、ご了承ください。活動内容に合わせて設置物の移動等を行い、より広いスペースを確保するように心がけてまいります。</p>
	2 職員の配置数は適切であると思いますか	36	2	0	0	<p>嘔吐の時に片づける先生と食事を回される先生とで分けていただけると助かります。</p>	<p>大変申し訳ありません。嘔吐処理に関する研修等を毎年実施しておりますが、今一度適切な動態について確認を徹底してまいります。</p>
						<p>話せる子やコミュニケーションがとりやすい子への関りが集中しているように見える。</p>	<p>大変申し訳ありません。職員の対応が異なることは、お子様や保護者様を混乱させることに繋がります。支援方針や一貫した対応等、担任間で共有することを改めて徹底してまいります。</p>
						<p>先生がほかのお子さんの対応で手が離せない時期がありこの間うちの子がしばらく一人で過ごしている場面がありました。その時はもう少し先生が多くいて下さると助かるなぁと感じました。</p>	
<p>先生によって指導の仕方が違う。特性に応じる知識の差があるのかなと思う場面があった。</p>	<p>大変申し訳ありません。職員の対応が異なることは、お子様や保護者様を混乱させることに繋がります。支援方針や一貫した対応等、担任間で共有することを改めて徹底してまいります。</p>						
3-1 生活空間は、お子さんにわかりやすく「構造化された環境」【注 i】になっていると思いますか。	37	0	0	1	<p>シンプルな部屋配置対応をしていただく事で集中して活動に取り組むことが出来てよかったです。</p> <p>イラストや写真などを使用することで分かりやすく家でも使用させていただいております。</p>	<p>ありがとうございます。環境の調整と視覚的なやり取りは、当園で最も大切にしている支援方針です。今後も研鑽を重ねてまいります。</p>	
3-2 障がいの特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化やわかりやすい情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	0	0	1	<p>トイレ(大人用)が少なすぎる。また古すぎる。せまい。障がい者用の施設のわりに市役所区役所のトイレより狭いのはおかしいと思います。</p>	<p>ご不便をおかけし、申し訳ありません。現在のトイレは構造が古いため、使用しにくい点もあるかと思えます。当センターのトイレの改修工事について、福岡市に提案をしている所です。</p>	
					<p>屋外遊戯場が、広さの割に人数が多くてよくぶつかっています。</p>	<p>申し訳ありません。当日の出席児数に併せて固定遊具の数や各クラスで使用する時間をずらす等の対応をしておりましたが、不十分な点を振り返り、一層の安全管理に努めて参ります。</p>	
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	3	0	0	<p>施設内はいつも清潔で整理整頓されていて過ごしやすいです。ここは何をする場所なのか視覚的に分かりやすい工夫がされていて子どもも理解しています。</p>	<p>ありがとうございます。整理整頓はお子様様の環境調整に直結する大切な支援の一つと考えており、引き続き力を入れていきたいと思えます。</p>	

適切な支援の提供	5	お子さんのことを十分に理解し、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	36	2	0	0		
	6	園が公表している「年間カリキュラム」【注ii】は、園の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	1		
	7	お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」【注iii】（年間・半期の目標、まとめ等）が作成されていると思いますか。	38	0	0	0	支援計画をわかりやすく提示していただき、行動しやすく言葉かけなど親も学ぶことが出来ます。	
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」【注iv】に示された支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	0	0	1	定期的にある支援計画・個別面談等の実施があることで子どもの成長具合を明確化でき、日常生活を過ごすうえでよいポイントになりました。	ありがとうございます。今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2	0	1	先生達が「飲まないように考えますね！」「みんなが楽しめるように考えるので楽しみにしてください！」と言って下さり親としてとても嬉しいですし励みになります。	ありがとうございます。お子様にとって楽しい活動は、学習効果もより高いものになると考えております。これからも様々なアイデアを駆使し、一層楽しい療育となるよう研鑽を重ねます。
							子ども一人ひとりに寄り添って支援されており、安心して通うことができました。保護者対応についても、何度も助けられました。	ありがとうございます。大変な親子通園ですが、お子様も保護者の方も満足していただけるように、今後も研鑽を重ねてまいります。
	10	園の「活動プログラム」【注v】が固定化しないよう工夫されていると思いますか。	34	2	0	2	他のしたことのない活動をしたと思うことがあります。	繰り返しの活動経験から、お子様が安心して見通しを持つことを大切にしながら、様々な遊びのアイデアを取り入れていくことも大切であると理解しております。ご意見、ありがとうございます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会がありますか。	21	5	2	10	月間カリキュラムで近くの保育園の園庭で遊ぶ活動がありました。が欠席したので交流があったかわかりませんが積極的に他の園のお子さんと交流を持つよりも、園内でも十分満足しています。交流は現状無くてもいいと思います。	貴重なご意見、ありがとうございます。保育園の園庭利用の主目的は、当センターでは経験できない広い場所や遊具等で遊ぶことですが、園児さんとの自然発生的な関わり合いが生じることもあります。交流に関する皆さまのお考えは、我々としても特にセンシティブなものとして捉えております。保護者のご意向も伺い、参加を希望しない方には別のプログラムを提供する等、柔軟に対応していきたいと思っております。
	12	契約時に、運営規程、年間カリキュラム、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	38	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	0	0	0		

保護者への説明等	14	園では、家族に対して家族支援プログラム（「ペアレント・トレーニング」【注vi】等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	0	0	3	プリント配布などで知らないことを知る機会を頂いており感謝です。 学習会が何度かあり、そこで初めて知ることも多くあり、とても良い機会でした。	ありがとうございます。情報提供のあり方や学習会の内容等について、今後も一層の充実を図ってまいります。
	15	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	37	0	0	1	通園のたびに昨日の出来事などを聞いて下さりしっかりコミュニケーションがとれています。	
	16	定期的に、保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	5	0	0	活動でどんな発達が期待できるか具体的に教えて頂きたいです。いつもいろいろと教えて下さりありがとうございます。	たくさんの温かいお言葉、ありがとうございます。お子様の成長を発見し、保護者の皆さまと共感できるよう、日々努めております。また、ご家庭でのエピソード等は、我々にも大変参考になる情報です。また、時には「できないこと」に苛む時期もあるかもしれませんが、その苦しさにも寄り添っていきたくと思っています。
	17	園の職員から、共感的に支援をされていると思いますか。	36	2	0	0	私(親)が子どもの対応に困っていると適切かつ丁寧に教えて頂きました。私自身も勉強になり有難かったです。 先生方のアドバイスがとても助かっています。こうした方がいいということや、こういうふうにやってみましょうとははっきり伝えてくださるととても頼りにしています。3歳児以降もずっとお願いしたいと思える先生方です。 「できた」ことを一緒に共感していただけて息子も自信につながっている様子です。	こうしたお言葉は職員も自信に繋がります。深く感謝申し上げます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がなされていますか。	12	3	1	22		
	19	お子さんや家族からの相談や申入れについて、「対応の体制が整備」【注vii】されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	2	0	0	先生方にはいつも親も子どももたくさんお気遣いいただいて感謝しています。母はなかなか褒められることがないのでここにきて褒めてもらって頑張れます。	ありがとうございます。お子様の成長を発見し、保護者の皆さまと共感できるよう、日々努めております。また、ご家庭でのエピソード等は、我々にも大変参考になる情報です。また、時には「できないこと」に苛む時期もあるかもしれませんが、その苦しさにも寄り添っていきたくと思っています。
	20	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	0	1		こうしたお言葉は職員も自身に繋がります。深く感謝申し上げます。
	21	定期的に、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がお子さんや保護者に対して発信されていますか。	26	3	0	9		
22	個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか。	37	0	0	1			

非常時の対応	23	園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	1	0	1		
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	35	0	0	3		
	25	お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	36	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した場合、速やかな連絡や状況の詳しい説明がされていると思えますか。	36	0	0	2	<p>頭をぶつけたときに冷やす・職員間で情報周知するなど対応が早くて安心した。</p> <p>子ども同士がぶつからないようにいつも気にかけてくれていてケガをしないように常に注意してくださっています。</p> <p>保育中にコケた、頭を打った、ということがありましたがその時も職員間連絡や保護者への説明などしてくださって安心して過ごすことができました。</p>	<p>ありがとうございます。事故や怪我については、まず予防的対策、次に起こった時の対応と、2つに分けて考え、マニュアル化しています。引き続き、皆さまが安心して通園できるように安全管理に邁進してまいります。</p>
27	お子さんは通園（通所）を楽しみにしていますか。	はい	どちらかといえばいい	いいえ	わからない	いつも楽しそうに通園しています。ありがとうございます！		
		34	2	1	0	1		毎回の登園を楽しみにしており活動プログラムも事前にお知らせしていただいているので安心して通っています！
								行きたくて仕方がない時もあれば行きたくないという時が数回ありましたが比較的に楽しんで通園していました。

		はい	やや安心 している	どちらとも いえ	いいえ	わからない	
満足度	28	35	3	0	0	0	<p>母子分離に慣れない頃は「イヤ」と言っていた時もありましたが、だんだんと楽しいところだと理解してくれました。</p> <p>多数の温かなお言葉、深く感謝申し上げます。私たちも、日々皆さまからたくさんのパワーをいただいております。びよびよ園は「お子様の好きなこと探し」を大切に（苦手なこともたくさん見つかっていきますが）、それを支援プログラムに活かしていきます。しかし、そのプログラムは保護者の皆さまが実践できるものでなければ始ど意味がありません。いただいたお言葉全ての背景には、保護者ご自身の大変な努力が存在し、決して簡単ではない支援プログラムに、時間をかけて取り組んだ皆さまの頑張りこそ、誇るべきであり、育児に自信を持っていただきたいと思っています。これは、当園に通われた全ての保護者に当てはまることです。子育ての主役は保護者の皆さまであり、職員はその伴走者です。これからも、お子様だけでなく、保護者の皆さまの応援団となりながら、療育を提供させていただく所存です。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか	35	3	0	0	0

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、机や本棚の位置やついたての使用などで刺激を整理し、お子さん本人がその場所で何をしたいかをわかりやすくする工夫です。
 - ii 「年間カリキュラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
 - iii 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標とその達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載した計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。
 - iv 「児童発達ガイドライン」は、児童発達支援の提供すべき支援として、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を規定しています。
本人支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの領域での支援のことです。
家族支援とは、お子さんが安定して育ち、暮らしていくことを目的として、家族が安心して子育てを行うことができるよう、徐々に家族の負担を軽減していくための物理的・心理的な支援を行うことです。
移行支援とは、あなたのお子さんが、お住いの周囲の一たちから理解され、家族として安心して地域参加するための支援のことです。
 - v 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの特性や発達の課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
 - vi 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がお子さんの行動を観察してお子さんの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等の関わりのコツを学ぶことにより、お子さんが適切な行動を獲得し、保護者がポジティブな気持ちで子育てに向かうことを目標とした家族支援です。
 - vii 「対応の体制の整備」は、保護者が事業所に対して、相談や「こうしてほしい」というお願いをする際に、誰に、どこにお話をすれば良いか、が決まっていて、それを保護者に知らされていることも含まれています。また、対応とは、相談やお願いに対して、迅速かつ適切な対応をすることだけでなく、対応の必要がないことや対応できない事情について保護者が理解できる説明を行うことも含まれます。
-